

ネクスト通信

Vol. 62

発行日

令和5年9月10日

発行責任者

前田 潤悦

編集者

小助川 輝

海保 愛実

夏は焼きそばとかき氷

夏はプールに焼きそばとかき氷が施設長の子供の頃の思い出とか。8月11日の開所日は、焼きそばとかき氷作りを行いました。利用者さんはエプロンとバンダナをつけて準備万端です。職員が準備をしていると利用者さん同士で「このエプロンかわいい」「早くやりたいね」など久々の調理実習に胸を弾ませ、楽しみな様子が伝わってきます。



矢萩尚輝さんには玉ねぎを切っていたきました。包丁を握るといつも以上に真剣な眼差しで、玉ねぎを軽く押えながら上手に切る事が出来ています。切りの終わると

「終わりました」と、達成感に満ち溢れた表情を見ることが出来ました。

焼きそば作りのあとはみんなも楽しみにしているかき氷作りです。今回はイチゴとメロンのシロップのみでしたが、今回はシロップの種類を増やして沢山の中から皆さんを選んでいただきました。ぶどうやカルピス、コーラや抹茶などが仲間入りすると「これにする」「コーラがいい」などの声も聞かれ、沢山あるシロップの中から、嬉しそうに選んでいる様子も見られました。

久保木あかりさんは、職員が氷を削っているのを発見すると、興味深々な様子で完成するまでじっと見えています。沢山あるシロップの中でもイチゴを選びました。食べながらには満面の笑みを見せてくれました。



まだまだ暑さが続いています。外で食べるかき氷は格別ですね。夏の楽しい思い出の一つとなっていれば職員も嬉しく思いますし、笑顔溢れる時間を共有できたことで心も温まりますね。来年も焼きそば作りとかき氷作りができることを楽しみにしています。
(海保)

防災の日

9月1日は防災の日。成田市全域でシェイクアウト訓練を行いました。シェイクアウト訓練とは、アメリカで始まった地震訓練で、指定された日時に身を守るための安全行動を1分間行います。今回は大規模地震を想定しての訓練です。ポイントは「低い姿勢をとる」「机の下にもぐり」「頭を守る」「揺れが収まるまで」「動かない」の3つがあります。地震発生の際内放送と共に下に隠れ、姿勢を低くしながら頭を守り、1分間動かずに揺れが収まるのをじっと待ちます。その後、名木小のグラウンドに避難するのですが、声掛けや校内放送の呼びかけで慌てることなくスムーズに避難。グラウンドに移動後は静かに待つことが出来ました。



今まで繰り返し行ってきた訓練の成果が現れているのだと実感しました。最近では地震も多く、災害はいつ何が起きるかわからないからこそ、日々の練習を大切にしていきたいですね。
(小助川)

遣幸さんを偲んで

ネクスト名木小に1年、そしてアーランドディだいいに易加工科に所属し、エイサーなどの活動と一緒に過ごしてきました石津遣幸さんが、8月17日に旅立たれました。突然のお別れに、現実を受け止められない日々を過ごしていましたが、8月24日に告別式が執り行われ、遣幸さんとお会いすることができたことで、少しずつ現実を受け止め始められそうな気がしています。個人的ではありますが少し、遣幸さんとの思い出をご紹介します。

出会った当初は一緒に散歩に行くことも許してもらえず、「一緒に行こう」と遣幸さんに言っても「ダメだよ」と別の職員と歩いていました。昼食後の歯磨きで仕上げを担当するとその後怒ってしまう



こともあり、なかなか縮まらない距離に悩んだ日もありました。感覚が過敏なところもあり、距離を縮めようとすればするほど触れられるのを恐れて逃げて行ってしまい、離れて見守ろうとすればどんどん遠くに行ってしまう、というのが遣幸さんへの出会った初めの頃でした。その頃スポーツクラブの担当となりました。一緒にマラソンを走ってもどんどん遠くに行ってしまうのでいつも後ろ姿を見ていました。心の距離が縮まらないなら、嫌がられてもなるべく近くにいたいと思います、たくさん後ろ姿を追いかけました。運動を通して少しずつ心の距離が縮まり、散歩では隣を歩いてくれるようになり、マラソンもペースを気にしながら隣で走ってくれるようになりました。遣幸さんが不完全燃焼しないよう、毎週火曜日のスポーツクラブは本当に全力で走りました。どうしても一位になりたい私は、たまに前を走る遣幸さんに「ストップ」と声をかけては追い越すギリギリで「競走よーいスタート」とズルをしては遣幸さんが「キヤー」と笑って走っていました。いつの日からかストレッチの時に身体に触れても嫌がらず受け入れてくれるようになり、距離が縮まったことをとても喜んだのを覚えています。

先日トレーニングセミナーという職員研修がありました。丸一日、合計3日間の研修に遣幸さんも協力してください、初めてお会いする方とコミュニケーションをとったり、初めて行う活動があったり、不安も多かったと思います。活動終了後に労いを兼ね、道中コンビニに寄って「好きなもの買ってあげる」と伝えると真っ先にハーゲンダッツのバナナアイスを手に取り

りました。私は妻に財布を握られているので、思わず「嘘でしょ」と言うとニコニコしながら「本当です」と手を離そうとしませんでした。その笑顔に負け、ハーゲンダッツを買い、車の中で食べました。ニコニコしながらゆっくり味わって食べる姿を鮮明に覚えています。自宅に到着し、そのことをお母様にお伝えすると「いつもは別なアイスを食べているので、ごちそうしてもらえると分かって高いものを選んだのかもかもしれません。」と、申し訳なさそうに話しながらも、息子さんの新たな一面を伺い嬉しそうなお母様の温かい笑顔に、私も心が温まりました。勝手ながら兄弟のように気を遣わない関係になれたのかなと、とても嬉しかったです。ニコニコと体を揺らしながら美味しそうに食べていました。やっと仲良くなれた、心が通じ合えたと思った矢先の訃報に、打ちひしがれ、やりきれない気持ちです。もう遣幸さんの笑顔を隣で見られないなんていまだに信じられないです。何事にも全力で真っ直ぐ、一生懸命な遣幸さん。その頑張り屋なところを皆さんご存知かと思います。あるご利用者さんはお家で「遣幸さんポルト作るのすごいでよ」と話しているそうです。遣幸さんを目標として、今年度から初めてポルトの組み立て作業に挑戦している方もおられました。

9月5日には事業所でお別れ会を行いました。遣幸さんへ一言気持ちを伝えて色とりどりのお花を手向けていました。中には寂しくないように「キャラクターの名前も一緒にいるよ。天国でも元気でね」とお伝えする方や、「今までありがとう」と感謝の言葉をお伝えする方がいらっしやいました。涙が溢れてうまく言葉にできない方

もいましたが、皆さんしっかり手を合わせて気持ちを伝えることができました。お別れにはなりますが、今まで一緒に過ごした楽しい思い出はずっと心に残り続けます。皆さんを天国から温かく見守ってくれていることを信じて、笑顔をたくさん見せられるように活動していこうと思います。心からご冥福をお祈りいたします。(藤巻)



9月の予定

- 18日(金) 開所日(名木小運動会)
- 19日(火) パン販売 常福寺
- 30日(土) ゆめふる成田 落成式

10月の予定

- 3日(火) パン販売 名木小
- 6日(金) 古紙回収 東地区
- 9日(月) 開所日
- 17日(火) パン販売 常福寺
- 20日(金) 古紙回収 西地区
- 29日(日) 開所日 アーアンドディ祭の



編集後記

遣幸さんとお別れの時に、事業所での思い出をお話しさせていただきました。お母様から、いつも事業所に行くのを楽しみにしていたと伺いました。今でも翌日の準備をしたままのカバンが置いてあるとのことでした。楽しみに待っていてくれるというお話にとても嬉しく、感謝の思いでいっぱいです。

これからも、ご利用される皆さんにとって大切な場所であるように、皆さんとの楽しい時間を共に過ごさせていきたいと思っています。(前田)

